

信頼されて1世紀半。新しい歴史はいつも APL から



APLは1848年に創立してから、およそ160年の歴史を誇ります。私たちAPLが誇るのはその一世紀半に及ぶ歴史だけではありません。APLはつねに時代を先取りし物流革新に挑み、顧客サービスを充実させてきました。コンテナ化やライナートレイン（米国鉄道との包括提携による海上・内陸輸送を一体化した輸送サービス）をはじめ、世界で初めて実用化したコンテナ2段積み列車（ダブルスタックトレイン）の運航、オンラインシステム、拠点港での専用ターミナル建設、アライアンス（船社間の戦略的提携）の結成、世界初のポストパナマックス船の建造、業界初のウェブサイト、他社との共同のポータルサイトGT Nexusの構築など、APLは国際物流のハード、ソフトの両面でつねに時代の最先端を歩んできました。とくに、輸送システムを支える情報システムの先進性に対する評価は高く、数多くのビジネス誌や顧客企業から業務の効率化に貢献したサプライヤーとして表彰されています。

APLは先進情報システムを核として、45万本のコンテナと85隻のコンテナ船を運航し、北米・南米、欧州・地中海、豪州、アジア、アフリカの全世界をくまなくカバー、企業の海外生産・販売活動や人々の豊かな暮らしを支えています。時代が変わっても、顧客と共に歩む企業姿勢は変わりません。これまででも、そしてこれからも...

APL Japan

日本支店を設立したのは1927年(昭和2年)ですが、American President Linesと日本のつながりはさらに旧く、1867年(慶応3年)にAPLの前身、Pacific Mail Steamship Company (太平洋郵船)の“コロラド号”が、横浜港に寄港したのに遡ります。



1867年(慶応3年)1月、世界初の太平洋定期航路となるサンフランシスコ〜横浜〜香港サービスを開設した本道の外輪船“Colorado”。

以来、140年以上にわたって日本と米国、諸外国を結んでいます。

現在、東京、横浜、大阪、神戸の4支店を核として、南は沖縄、北は札幌まで国内11の代理店と共に、全世界を結ぶ輸送システムや営業・顧客サポートのネットワークを通じ、定期コンテナ輸送とロジスティクスサービスを提供しています。横浜、神戸では、専用ターミナルを自営し、サービス向上に努めています。

わたしたち APL Japan はこれからも一歩も引かずに業務拡大に努めてまいります。